

■ グループ紹介

株式会社高岳製作所

1. 沿革

当社は、大正7年(1918年)に名古屋市高岳町に創立されました。この時期は、我国では電気機械工業の萌芽期で、主として輸入機器に依存していた。そこで送・配電機器の国産化を目指して、高岳製作所が設立され、創業の地名を以って社名とした。

第2次大戦時までに、高岳重電製品の4機種である変圧器、遮断器、断路器、配電盤が品揃えされ、変電・配電メーカーとしての基盤が築かれた。

戦後は、その時代が要求する高電圧化、大容量化、機器の複合化、省人化、環境調和、高信頼・高品質化などのニーズが次から次へと技術陣へおしよせてきた。これらに応えるべく、各種技術力の向上策の推進、生産規模の拡大、新技術の開発・導入などにより多くの課題が解決されていった。

最近の10年間はコンピュータ化、システム化、情報化という大きな時代の流れの中で、重電、拡重電、超重電と技術分野の拡張と深耕、そして商品の多様化を図っている。

表1 主要製品

| 分野 | 製品 |
|---------------|--|
| 受変電・配電設備 | 変圧器、遮断器、配電盤、制御装置、複合開閉装置 |
| 電力制御システム | 電力制御システム、配電制御システム、道路管理システム、水処理システム、ビル管理システム、予測保全システム |
| 電力変換装置 | 整流装置、UPS、CVCF、VVVF |
| 産業用コンピュータシステム | マイコンソフト開発システム、生産管理システム、FAシステム、水蓄熱式空調システム |
| オプトメカトロニクス | 画像処理装置、各種ロボット、DCブラシレスモータ、磁気式ロータリエンコーダ |
| 情報・通信 | キャプテン端末、ビデオFAX |
| その他 | 課電表示器、光ファイバセンサ、低温木材乾燥装置 |

2. 事業内容

事業分野は、システム技術(System Technology)ならびにエレクトロニクス分野(Electronics)から電力やロボットに代表される機械力応用分野(Power)のSTEPと設定し、システム技術と電気機械の融合を目指している。

高岳は受変電・配電機器メーカーでスタートし、その後のお客様のニーズと技術の進歩により、重電機器、コンピュータを用いた各種システム製品、電力用半導体応用装置、オプトメカトロ製品、情報・通信機器等と要素技術の多様化と製品への技術の集中化を行っている。

お客様も電力会社、官公庁、一般産業、家庭にまで広がっている。営業拠点も北は札幌から南は沖縄まで、主要都市に営業拠点を有している。また海外活動も単体機器、変電設備のプラント輸出も行っている。

3. 主要製品

主要製品は表1に示すように単体からシステム製品に広がっている。電気エネルギーだけでなく熱を含むエネルギーという観点から製品、システムを開発している。

4. 技術開発

高岳の技術開発は2つの部署で進められている。その時点での技術開発テーマにより若干の差はあるものの、基盤技術、要素技術開発のウエイトの高いものは技術開発センターで、従来の要素技術の延長、組合せによるものは機器設計部門の開発で分担している。

5. まとめ

高岳は平成元年度を初年度とする5ヶ年の経営計画を策定し、最終年度に売上高一千億円を目指している。

所在地：〒100 東京都千代田区大手町2-2-1

(新大手町ビル)

(文責：技術本部課長 井川 省次)